

# 英語科学習指導案

日 時 平成19年11月30日(金) 5校時  
学 級 2年2組 男子17名 女子17名 計34名  
授業者 花巻市立 南城中学校 教諭 氏家 啓道

1 単元名 Unit 6 (東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 教材観

この単元はクリスマスにまつわる内容となっている。特に「Silent night (きよしこの夜)」の誕生秘話が題材となっている。Starting Out はブラウン家のクリスマスイブの場面で、プレゼントがツリーの下に準備されている。その中の1つがクリスマスのお話を集めた本で、ジュディの祖母からのプレゼントである。Dialog ではジュディがプレゼントとしてもらった本について、友達の絵美と対話する場面になっており、この本の中に「Silent night (きよしこの夜)」の誕生秘話が書かれている。Reading for Communication において、この秘話を紹介することになる。クリスマスがテーマであることからクリスマスそのものの起源、クリスマスに必要である candle ,holly などの意味、クリスマスの過ごし方などを示しながら外国の文化について伝えていきたい。

言語材料としては There is (are) の構文、動名詞がある。There is (are)は「～がある。～がいる。」という意味であるが、今回は「～がある。(ものの存在)」についてのみ扱う。1年生時に be 動詞による表現を学んでいるので、受け入れやすく、定着しやすいと考えられる。There が意味のないことや There is a book on the desk. と A book is on the desk. の違いについても指導していきたい。動名詞については進行形と同じ形になるので、混乱することが予想される。例を多く示しながら定着させていきたい。また、How pretty!や How beautiful!の感嘆文や Well. Of course.などの表現も「場面に合わせて使えるようにしていきたい。基本的な表現であるので、十分な定着を図れるよう指導していきたいものである。

(2) 生徒観

英語学習に対する興味・関心は高い。「聞くこと」「話すこと」に関しては楽しみながら学習している生徒も多い。しかし、英語を使って「聞く」「話す」「読む」「書く」において基礎・基本が身に付いていないため、なかなか英語学習に取り組めない生徒もいる。下記の表は今年度4月に行ったCRTの結果である。このことから基礎・基本の定着が不十分であると思われる。今年度10月に行われた学習定着度状況調査によると、「英語学習が大切(必要)だ」と考えている生徒は9割近くになる。「英語が好きだ。」と答える生徒が6割を超えている。正答率は59%で県平均とほぼ同じである。英語検定の取得状況は4級で約3割である。

これらのことから、興味・関心を更に高め、維持できる工夫をしながら、4技能をバランスよく、しっかりと身に付けさせる必要がある。文字を書くことを苦手としている生徒が数名いるので、指導が必要である。

【C R Tの結果から】

領域	全国比
聞くこと	95
話すこと	92
読むこと	93
書くこと	87

小領域	全国比
簡単な英語を聞き取ること	99
質問などを聞き適切に応じること	97
具体的な内容や大切な部分を聞く	92
基本的な話し方を理解すること	82
考えや気持ちを正しく理解すること	95
書き手の意向を理解し応じること	99
英文の内容を正しく理解すること	94
分掌の大切な部分を理解すること	90
文章等の知識を身に付けること	89
伝えたい内容を考え正しく書く	86

(3) 指導観

There is(are)構文は存在しているものや人を伝えるのには普通の表現である。英語らしい表現ともいえるので友達に尋ねたり、答えたり、説明したりできるようにしたい。また、動名詞は進行形と混同する可能性がある。「・・・ing形」は「進行形を作る」ほかに「・・・すること」という名詞の役割を果たすことを多くの例を示しながら理解させ、定着を図りたい。不定詞との関連についてはまとめの段階で指導することとしたい。生徒の興味・関心を引き出しながら、4技能すべてにおいて定着を図っていくために様々な工夫をしながら授業を展開していきたい。また、4技能の統合の観点から、4技能がつながっていくよう授業を組み立てたい。

機能として「説明」「感動・喜び」「疑問」「応答」「当然」などがある。How pretty!やHow beautiful!の感嘆文やWell. Of course. よく使われる表現なので、ぜひ覚えさせたい。その場面にあった表現が十分にできるよう指導していきたい。

3 単元の目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・ There is(are) を使って意欲的に尋ねたり、答えたり、説明したりしようとする。

(2) 表現の能力

- ・ There is(are) を使って意欲的に説明できる。
- ・ 動名詞を使って話したり、書いたりすることができる。

(3) 理解の能力

- ・ 文の内容を聞いて、内容を理解することができる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

- ・ There is(are)構文、動名詞の用法を理解できる。
- ・ silent night (きよしこの夜)のエピソードを理解し、クリスマスについてより深く知る。

#### 4 単元指導計画と評価

##### (1) 単元の指導計画

Starting out . . . . . 1時間 (本時)

Dialog . . . . . 1時間

Reading for communication . . . . . 2時間

##### (2) 評価規準

題材 (Unit 8) 目標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に ついての知識・理解
Starting out There is(are)構文を使って もののある場所を説明できる。		There is(are)構文 を使ってもののある場所を説明 できる。		There is(are)の 構文の用法を 理解できる。
Dialog There is(are)構文を使って 尋ねたり、答えたりできる。	There is(are)構文 を使って尋ねたり、答えたりし ようとする。	There is(are)構文 を使って尋ねたり、答えたりする ことができる。		There is(are)構文 の疑問文と 答え方を理解 できる。
Reading for communication 動名詞の用法 (目的語・主語) を理解し、表現できる。 物語を読んで、登場人物の 心情を捉えながら音読する ことができる。		場面や心情に 応じて音読する ことができる。	物語を聞いて 内容を推測で きる。	動名詞の用法 を理解できる。

#### 5 本時の目標

##### (1) 本時の到達目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	There is(are)を使って もののある場所を説明 したり、情報を伝える ことができる。		There is(are)の意味・用 法を理解することが できる。

(2) 具体の評価規準

観点	十分に満足できると判断される状況 (A)	おおむね満足できると判断される状況 (B)	努力を要する生徒の指導の手だて (展開案)
表現の能力 (展開案 1)	There is(are)を使って板書などの文字を見ずにもの場所について話すことができる。	There is(are)を用いて、板書などを参考にしながら話すことができる。	机間巡視をしながらつまずいている生徒を確認し教師と一緒に取り組む。
言語や文化についての知識・理解 (展開案 2)	There is(are)の意味と用法を正確に理解し、Gアップシートの問題をすべて解くことができる。	There is(are)の意味と用法を理解し、基本的な問題1, 2を解くことができる。	個別にヒントを与えながら、理解できるよう促す。

(3) 本時の指導構想

本時は、「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく授業に組み入れるよう計画してみた。また、基礎・基本の定着の観点から 明確な課題の設定、生徒の興味・関心を引く導入、 動機づけを維持し・保護する展開と使用場面と働きを重視した言語活動、 自己評価によるフィードバックを意識的に授業に取り入れ、よりしっかりと定着が図られるよう指導していきたい。

「書くこと」に関しては、様々な場面で、少しでも書く活動を取り入れていきたい。具体的には話したことを文字化する方向で練習をしていくこととする。

6 展開案 (別紙)

7 板書計画

学習課題	絵	NEW WORDS
例文		

展開案

	学習活動・学習内容・生徒の反応等	指導上の留意点 支援 評価	観点
導入 10分	1 あいさつ 2 Warm-up Q and A・小テスト 3 導入 教師が英語で話す内容を想像し、学ぶ内容を把握する。(課題把握)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつをする。</li> <li>・素早く短い時間で行う。</li> <li>・全員が課題を把握できるようにする。</li> <li>・学習課題を把握したか。(観察)</li> </ul>	コ表言 コ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             様々なものの場所を友達に伝えよう           </div>			
展開 30分	4 定着のための活動 (1) There を使った文の口頭練習 (音のみで練習 文字を見ながら練習) (2) 教科書を読む 読む練習と内容把握をする。 (3) コミュニケーション活動 クイズ形式で行う。(ペア) (4) 答えの確認・発表 5 確認シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体 個人 全体</li> <li>・短い時間で繰り返し練習できるよう工夫する。</li> <li>・意欲的に練習したか。</li> <li>・短い時間で繰り返し練習できるよう工夫する。</li> <li>・発音できない生徒には教師がついて支援する。</li> <li>・場面に合った発音ができるように指導する。</li> <li>・日本語で素早く内容把握を行う。</li> <li>・読めない生徒には教師がついて支援する。</li> <li>・ワークシートを使って行う。</li> <li>1 There is(are)を使ってものの場所を相手に伝えることができたか。</li> <li>机間巡視をしながらつまづいている生徒を確認し教師と一緒に取り組む。</li> <li>・Gアップシート及びワークシートを使用する。</li> <li>2 There is(are)の意味と用法を理解し、基本的な問題1, 2を解くことができたか。</li> <li>個別にヒントを与えながら、理解できるように促す。</li> </ul>	表 理 表 言
終末 10分	7 本時のまとめ 自己評価 8 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに本日学んだことと感想を記述する。</li> <li>・次の授業の内容を伝え、本日の授業の良かった点を十分にほめる。</li> </ul>	

# Let's Enjoy English 2!

今日の学習課題

【表現】

There is(are)を使ってもののある場所を説明したり、情報を伝えることができること。

机の上に本が(1冊)あります。

## 今日の目標

【言語】

There is(are)の意味と用法を理解し、基本的な問題を解くことができること。

机の下に本がいくつかあります。

木の下にいくつかプレゼントがあります。

【自己評価・今日の授業を振り返ってみましょう。】

観点		自己評価				
表現	A : 何も見ないで、There is(are)を使って、相手に伝えることができた。 B : 黒板などを参考にしながら There is(are)を使って、相手に伝えることができた。 C : 伝えられなかった。					
言語・文化	A : 何も見ないでGアップシートをすべて解くことができた。 B : 基本的な問題1, 2は解くことができた。 C : ぜんぜん解くことができなかった。					
自由記述	<p>【今日わかったことを書きましょう。】</p> <p>【今日すばらしかった友達は誰でしたか？2人あげて、どこがよかったかも書きましょう。】</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>					

Class No. Name Date

【1】 次の日本語が表す英文になるように、( ) 内に適切な語を書き入れなさい。

<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) ( ) ( ) a notebook on the desk.  
「机の上にノートが1冊あります。」
- (2) ( ) ( ) two notebooks on the desk.  
「机の上にノートが2冊あります。」
- (3) ( ) ( ) many apples in the box.  
「箱の中りんごがたくさんあります。」
- (4) ( ) ( ) some presents ( ) the Christmas tree.  
「クリスマスツリーの下に、プレゼントがいくつかあります。」

【2】 次の日本語が表す英文になるように、( ) 内の語(句)を正しく並べかえて、英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で表しています。

<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) ( a / there / library / is ) near here.  
「この近くに図書館があります。」
- 
- (2) ( junior high schools / eight / were / there ) in our city.  
「私たちの市には、中学校が8校ありました。」
- 
- (3) ( concert / big / there / a / is ) in Midori Park.  
「みどり公園で、大きなコンサートがあります。」 (concert 「コンサート」)
- 

【3】 次の絵を見て、どこに何があるかを説明する英文を2つ書きなさい。

<表現: 既習表現を用いて正しく書く>



①

②

Class

No.

Name

Date

【1】 次の日本語が表す英文になるように、( ) 内に適切な語を書き入れなさい。

<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

(1) ( There ) ( is ) a notebook on the desk.

「机の上にノートが1冊あります。」

(2) ( There ) ( are ) two notebook on the desk.

「机の上にノートが2冊あります。」

(3) ( There ) ( are ) many apples in the box.

「箱の中にりんごがたくさんあります。」

(4) ( There ) ( are ) some presents ( under ) the Christmas tree.

「クリスマスツリーの下に、プレゼントがいくつかあります。」

※「人〔動物〕がいる」「(物)がある」は「There is a + 単数名詞」「There are + 複数名詞」で表します。

この基本表現は、ほとんどの場合、場所を表す前置詞in, on, by, underなどと一緒に使われます。この時、前置詞の後の名詞には、in the box, by the doorのようにtheがつくことが多いので注意しましょう。

【2】 次の日本語が表す英文になるように、( ) 内の語(句)を正しく並べかえて、英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で表しています。

<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

(1) ( a / there / library / is ) near here.

「この近くに図書館があります。」

There is a library near here.

(2) ( junior high schools / eight / were / there ) in our city.

「私たちの市には、中学校が8校ありました。」

There were eight junior high schools in our city.

(3) ( concert / big / there / a / is ) in Midori Park.

「みどり公園で、大きなコンサートがあります。」

There is a big concert in Midori Park.

(1) a libraryは単数名詞なので、There is～を使います。near「～の近くに」は場所を表す前置詞です。hereは「ここに」という意味で、theはつきません。

(2) 複数を表すeightがついていますので、There are～を使います。in our cityのようにmyやourなどがついている場合もtheは不要です。

(3) There is～やThere are～の表現は、「建物」だけではなく、このようにコンサートのようなイベントが「ある」の意味でも使われます。

【3】 次の絵を見て、どこに何があるかを説明する英文を2つ書きなさい。

<表現: 既習表現を用いて正しく書く>



(解答例)

There is a guitar by the bed.

There is a bag on the bed.

There are (two) books on the desk.

There are (two) balls under the desk.

There is a computer on the desk.

「There are + 複数名詞」を使うときは、個数や人数を表す数字や、some (疑問文、否定文ではany) が名詞の前につくことがあります。